

須賀俊和さん追悼特集

追悼の辞

ここに謹んで須賀俊和さんの御霊前に申し上げます。

「須賀俊和の息子ですが、父が先日の20日に亡くなりました。」突然の電話がご子息からあったのが1月23日の事でした。「えっ！」と答え、なにを言っているのか理解するのに数秒かかりました。数日前まで共に色んな話しをしていた須賀さん、とても信じられない出来事でした。「うそでしょ!」「冗談でしょ!」こんな言葉しか出てきません。その後、やっと現実を理解したときは、言葉にならないほどの悲しみが心の中にあふれてきました。

須賀さんとは時々お酒を嗜みながら色んな話しをさせていただきました。カラオケも好きで良く「柳ヶ瀬ブルース」を歌っていましたね。ある時、私がスナックで飲んでいるとき電話が入り「今、柳ヶ瀬なんだけど、飲んでるの？俺はこれから柳ヶ瀬ブルース歌うから」と、たったその事だけで電話をいただいたのを覚えています。

一緒に韓国へ行き、大邱松林RCの式典に出席した時の事を思い出します。とても楽しく過ごさせていただきました。三泊四日が、あっという間に過ぎ去ったようでした。あのときの思いでは今も心に残っておりますし、未だに語りぐさになっております。

小田原城北ロータリークラブ内では、ロータリーライフに専念され、クラブの次代を担う存在で、今後のご活躍が期待されていたさなかの出来事で、まさかの突然の訃報に接し言葉もありません。

1996年小田原城北ロータリークラブに入会して以来、会場監督から始まりローターアクト委員会等各種委員会を歴任し、2013～2014年副会長を拝命され、一年間職務を全うされました。すべての人に優しく、頭が良く温厚な振る舞いの人でした。そんなロータリーライフを送られた先輩、小田原城北ロータリークラブとして、なくてはならない存在をなくした事はとても残念でたまりません。

この訃報に接し、クラブは大黒柱を失った悲しい気持ちでいっぱいです。しかし同時に残された我々は、須賀さんの意思を継ぎ、今後、小田原城北ロータリークラブの発展に、会員一同さらに邁進しなくてはならないと決意を新たにいたしました。

須賀俊和先輩、安らかにお眠りください。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成27年 2月 6日
小田原城北ロータリークラブ
会長 齋藤 永

経歴



昭和26年12月12日生 63才

会社：須賀機械工業株式会社

職業分類：機械及び装置事業：ダイカストマシン製造

役職：代表取締役社長

自宅住所：小田原市府川145-2

【ロータリー経歴】

1996年4月9日(第21期 土岐会長年度) 小田原城北ロータリークラブ入会

※スポンサー：本多 純二会員

- 2000～2001 環境保全委員長
- 2001～2003 ローターアクト委員長
- 2003～2004 国際親善委員長
- 2004～2005 広報委員長
- 2005～2006 プログラム委員長
- 2007～2008 米山記念奨学委員長
- 2010～2011 会場監督
- 2012～2013 クラブ会報委員長
- 2013～2014 副会長
- 2014～2015 会員維持増強委員長(常設委員会)・会長エレクト

□米山功労者(3回)

□マルチプルフェロー(2回)

